



日時	2021年7月17日(土) 13時30分～15時00分
場所	板橋区立若木小学校 多目的室
出席者	10+3名(【地域委員】7名、【行政委員】3名、【若木小学校教員】3名)
欠席者	2名(【地域委員】2名、【行政委員】0名)
傍聴人	4名

議事概要

1 委員長挨拶

委員長より挨拶された。

2 校長、教職員より

(1) 校長より一学期の学校の様子が報告された。この中で、緊急事態宣言により、昨年度から一度も児童の様子を参観できていない2年生保護者について、今回も参観を見送らざるを得ない状況であることについて、心苦しい胸の内が語られた。なお、引き渡し訓練については、児童らの命に関わることで実施したことが報告された。またさらに、学校支援地域本部やPTA(保護者)協力により、昨年度実施できないことが可能になったことも報告された。

(2) 教員Aより入学後の1年生児童らの様子について語られた。

(3) 教員Bより欠席連絡フォーム導入の進捗状況について説明された。フォームの試験的導入後、7月12日(月)から6年生で本格導入されたことが語られた。なお、この運用にあたって、CS委員より、一部修正が必要な点並びに、QRコードを保護者配布資料に付すことの提案があった。

(4) 教員Cより、教員の声として、運動会並びに音楽会について案内された。運動会はコロナ禍の影響により縮小はやむを得ないものの、短距離走や表現については実施したいという教員の意見や、短距離走だけでもよいのではないかという意見が出ていることが語られた。また、保護者参観にあたっては、入れ替え制について検討されていることが語られた。なお、その際には、CS委員会の力を借りたい旨、申し出があった。またさらに、音楽会については、緊急事態宣言により中止になるのではないかという意見や保護者が密を避けるために、人数を絞って公開する場合には場内整理などで人員が必要である旨、申し入れがあった。

委員長より、CS委員会の役割としては熟議の場であるため、実際に人員配置をするにあたっては、この後、連絡のある学校支援地域本部に依頼し、その依頼に基づき、CS委員が参加することはありうるということが説明された。

3 学校地域支援本部より

CS委員より、学校支援地域本部の役割の概要が説明された。また、今年度の具体的な活動について資料をもとに説明された。この中では一学期の振り返りについても語られ、課題として緊急事態宣言により実施が不明確な行事等に対するボランティア集めが難しい状況について語られた。また、今後もボランティアを招集するにあたっては、早い時期に声かけをする必要性などが説明された。

4 確認事項について

(1) 第3回の日程については調整中であり、今後メールで改めて配信することが確認された。

(2) メールでの取り扱いについて再確認された。

(3) CS便りの形式や配信方法、議事録の取り扱いについて再確認された。

(4) 議事録、CS便りの作成の担当については、今後改めて検討することとした。

5 熟議

「教員からの声や学校の現状からできることは何か」

(1) 登校時の児童の管理問題(熟議)

【問題の所在】

- ・現在、若木小学校では児童の登校時間が8:15～8:20となっている。
- ・一方で、早い児童らは7:30過ぎには登校している。
- ・教員の勤務時間は、8:15からであり、それまでの間の児童の安全管理が課題である

・これまでも報道等によれば、学校に関わる痛ましい事件、事故がありこの問題点を解消する知恵等を委員から意見いただくとともに、傍聴人からも意見を頂戴したい。

この問題について、現状学校としてはどのような取組になっているかさらに確認された。今年度だけでなく、昨年度も登校の早い児童は7:30から登校している。校門前に児童が滞留することで、児童らの安全が確保できないことから、内規で開門を7:35からとしている。保護者の中では、登校時間は理解しているものの、児童に家の鍵を閉めさせて登校させることに抵抗があることから早くに送り出している家庭の存在が紹介された。一方、炎天下や寒空のもと、外で児童を待たせることや、不審者や暴走車両の侵入があった際に、児童らの安全確保に課題があることが確認された。学校によっては、集団登校により、集合場所まで保護者が付き添うケースなども紹介された。また、あいキッズなどの場合は、時間外に受け入れる際に有料で受け入れている。家庭によっては、送り出しまでの時間にシッター等を頼んで対応している家庭もあることが紹介された。

こうした状況を鑑み、CS委員会としては、次のことを学校側に提案することとした。

- ・学校から改めて正規の児童登校時刻について各家庭に案内する。
- ・急激な変化は望めないため、場合によっては校門にボランティア人員を配置する。その際に、例えばPTA活動の一環としての依頼にすれば、ボランティア保険の対象になりうるかもしれない。一方、それ以外の方の場合には、事件、事故の際に善意があだになる場合があるので検討が必要である。
- ・今後は8:15の登校時刻までは若木通り側の正門は閉鎖し、登校時間に開門する。なお、西門についてはこれまでどおり登校時間前に開門する。また運用にあたっては、段階的に時間を繰り下げ、保護者の理解を得る中で緩やかに移行する。また、時間外のリスクについて改めて家庭に周知する。

(2) コロナ禍における学校行事 運動会(短距離走、演技)、音楽会(承認)

行事の縮小については基本的には承認するものの、保護者や特に児童らの気持ちを大切にしながら、縮小させる部分と充実させる部分のメリハリをつけていくのがよい。例えば、「コロナだから仕方ない」という諦めの気持ちを抱かせることがないように配慮する。例えば卒業式の際に児童の授与の様子が投影できるような新たな取組なども検討するなどしてほしい(Fig.1)。一方、行事はこれまで学校の教職員や児童が上手に分担して運営されてきた。新たな試みをする際に、例えば学年毎に実施した際に、他の学年では授業を実施している関係で人員が割けない。そこで、人員が必要になった際には保護者や地域等の協力が得られる場合には実行する、そうでない場合には実行しないなど場合分けをして検討していくとよい。この中には、再度の緊急事態宣言により運動会が非公開となった際に、ライブ配信するにも教職員だけでは物理的に運営不可能であることから、外部の人員が必要になる。よって、そうした人員が確保できたら実施など場合分けが必要である。なお、この配信にあたっては、著作権法の問題があることから、ライブ配信は可能であっても録画の配信やDVD配布などは授業の過程外であることから不可であるなど、出来ること出来ないことについても留意する必要がある。このほか、CS委員より換気が無い状態でのCO2濃度測定結果について紹介があり、宿泊行事を実施する際には、換気の配慮など工夫の必要性について案内された。



Fig.1 授与の様子を投影する卒業式例

6 その他

CS委員(PTA会長)より、昨年度のPTA行事と同様に6年生の児童により新たな行事について企画されていることが連絡された。なお、その際に場合によっては改めてCS委員会等にも協力依頼が来る可能性について語られた。

7 備考

第2回CS委員会を迎えるにあたり、事前にCS委員会から校長を通じて教職員に第2回CS委員会へのお誘いと、日頃感じている喜びや悩み(任意)について回答いただいた。5名の教職員から出欠の回答を頂戴し、3名の教職員に出席いただいた。この点について、CS委員会として感謝申し上げたい。なお、回答いただいた意見については、CS委員内で事前共有し、第2回の会議に臨んだ。今後も、必要に応じて、教職員の参加(お誘い)について検討したい。

【次回予定】第3回 2021年8月27日(金)19:00～ (エリア合同 場所:中台中学校)

作成者	CS委員長	確認者	校長
-----	-------	-----	----

